



中国文化的の
奥深さを
広く世界の
人々に

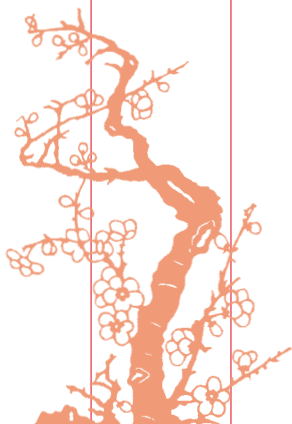
特別インタビュー

中華人民共和国駐日本国特命全権大使

崔天凱氏

昨年9月に中華人民共和国駐日本国特命全権大使として着任された崔天凱氏。一貫して中国と日本とのパートナーシップを重視する姿勢で、両国の友好に尽力されている。今回、上海万博について、その意義や希望する姿、そして日本に期待することなどをお話しいただいた。

インタビュアー 徐迪旻（本誌編集長）



中国にとって上海万博の重要な意味はどこにありますか。上海万博においてどんな特色を出すべきですか。

中国は1982年に国際展覽会事務局(BIE)に復帰を果たしました。1999年昆明の世界園芸博覧会、2010年上海で初めての総合的な博覧会が開催されることになりました。歴史的に見ると、先進国が初めて総合的世界万博を開いた時期は、しばしば開催国の工業化や近代化といった発展の最も重要な時期と重なっています。このため、上海万博は中国を世界に知ってもらい、中国の発展を一層促すチャンスになるものと確信します。また、国際交流を促進し、中国も国際社会も協力と協調を実現するチャンスになるに違いないと思います。

1851年世界で初めての万博がイギリスのロンドンで開催されて以来、万博はすでに世界13ヶ国の24都市で開かれ、それぞれ独自の特色がありました。上海万博に関しては個人的にですが、このような個性が出せたらと思います。

第一に、環境への配慮、エコの重視。

省エネや環境保護は目下国際社会において最も注目されている問題であり、中国が持続可能な発展をするために通らなければならない道でもあります。「ベターシティ、ベターライフ」というテーマのもと、より多くの省エネや環境にやさしい最新技術が展示され、今後のエコ型の都市発展のモデルを示してほしいのです。

第二に、中国文化の特徴の強調。

中国は5千年の歴史を持つ国で、世界文明の発展に大きく貢献しました。上海万博の中国館は「東方の冠」という名が付けられ、設計に、中国古代建築の「斗拱」が取り入れられ、また、館内に「守護品」としていくつかの国宝も展示される予定だそうです。中国館という展示舞台を通

じて、中国文化の豊かさや奥深さ及び中国が文明発展の過程で築き上げた伝統的な知恵を広く世界に知ってほしいと思います。また、この上海万博を通して、中華文化の真髄である「天人合一」(人と自然との調和)や「和為貴」(和を以て貴しと為す)を世界の人々に肌で感じ取ってもらいたいと思います。

第三に、国際協力の拡大。

上海万博は初めて発展途上国で開催される総合的な万博であり、これは発展途上国が人類文明の中に果たした役割に対する世界の評価と期待を示したものであります。上海万博は2000の国と国際機構の出展を目指していると聞いていますが、この目標により上海万博は万博史上最大規模の大会となり、世界の発展と協力を促すだろうと思います。

日本は愛知万博を成功させ、豊富な経験をつんできました。万博において、中日双方はどのような合作を強めるべきとお考えですか。

日本はイベント大国です。私の知っているところでは、日本では2005年愛知万博のほか、1970年の大阪万博、1975年の沖縄海洋博、1985年のつくば国際科学技術博と1995年の花博なども開催されました。日本国民は「万博」に深い愛着とともに特別な感情をもっていると言えるでしょう。またこれによりたくさん経験を積んできました。上海万博事務局は日本との交流を非常に重視し、愛知万博会期中に数十の視察団を派遣して直接に経験し学びました。日本側もずっと上海万博を支持することを表明しています。2006年10月、当時の首相安倍晋三さんは温家宝総理に親書で2010年上海万博への参加を表明し、その年の11月に日本の国会議員による「上海万博協力議員連盟」が東京で結成され、高村正彦外相が会長に推挙されまし

た。これは日本の政界の上海万博に対する大きな支援であり、日本の各界による上海万博への関心と参画を促し、上海万博に対する認知度を高めるのに非常に有益だと思います。中日双方が素晴らしい協力を通し力を合わせて上海万博を成功させるよう努力していくことを期待しています。

現在、中日関係は改善し、発展しつつあるよい関係にありますが、上海万博はどのように各分野における交流を促進し、中日関係の一層の発展を押し進めるとお考えですか。

近年来、中日間の互恵互利の合作関係が深まりつつあり、両国関係発展の堅固な礎になっています。上海万博も中日のこういつた協力と合作に新たな契機をもたらし、新しい舞台が用意されたこととなります。計画によりますと、今回の万博は会場建設に使われる直接投資額だけで180億人民元に達し、これが交通、商業、旧市街の再開発を動かし、これら延伸領域への投資は直接投資の数倍にもなる見込みだそうです。万博はまた数多くの中外合弁による商業、観光、コンサルタントなどの専門サービス会社を世に送っており、省エネ、環境保護、イベントなどにおいて優れた技術と経験をもつ日本企業にとつて、万博市場に参予し、活躍する場所はたくさんあると思います。

上海万博は中日両国民の往来も促進し、相互理解の架け橋になるでしょう。上海万博期間中に来場者が7000万人を超え、万博史上の最高記録を作るのではとの予測もあります。中国側は特に日本からの見学者を重視し、150万人の日本人来場者を誘致しようという目標を定めました。日本の国民にもっと積極的に上海万博に関心を持つてもらい、ふるって参加してもらいたいと期待しています。さらに万博を通して中国を一層理解し、中国国民との理解と友情を深めてもらいたいと望んでいます。

